

## JLC 第74回研究発表会

2019年7月20日 日本近代文学館

# 英語きまり文句のもじり(4) —身体部分に関するもの—

豊田 一男



写真撮影：小澤正樹

またまた「もじり」を取り上げます。亡くなられた植田さんに「もじり兄<sup>あに</sup>」というあだ名を頂き、有難いことだと思っています。

例会で発表したものの中から比較的文字で説明できそうなものだけを取り上げます。それぞれの項目の辞書的意味をもじったものです。

●with open arms 両手を広げて

They are so friendly in Las Vegas, they welcome you with open palms.

ラスベガスには大金を夢見て客がやってきます。相手は「いい鴨が来た」と手のひらを広げて歓迎するのは当然です。arms⇔palms のシャレになっています。

●blood vessel 血管

Did you hear about vampire who went to sea?

He signed up on a blood vessel.

go to sea: 船乗りになる vessel: (比較的) 大型の船

船乗りになった吸血鬼は当然「血の船」に乗り込みました。

●by the sweat of one's brow 額に汗して

A lazy German lives by the sweat of his frau.

frau: ((ドイツ語)) 奥さん

怠け者のドイツ人は奥方に食わせてもらっているのです。brow ⇔ frau のシャレになっています。

●keep one's chin up 元気を失わずにがんばる

“Doctor, I think I’ve broken my neck.”

“Really? Well, keep your chin up!”

「首が折れた」と言う患者に対して、医者は「あごを上げておきたまえ」と不可能なことを指示し

ています。

●**up to one's chin** あごの所まで(深く); 深入りして

Violinist: a fellow who is always up to his chin in music.



ヴァイオリニストは「いつも音楽にあごまではまり込んでいる人」なのです。

●**go in one ear and out the other** (言われたことが) 頭を素通りして行く

(1) Gossip is what goes in one ear and in another.

うわさ話は一方の耳から入ってまた別の耳に入っていく。The other (もう一方)ではなく another (ear) で、次々に伝わって行きます。

(2) "Everything she says goes in one ear and out the other."

"Yes, there is nothing to block traffic."

「彼女の言うことは全部片方の耳から入って、もう一方の耳から出て行く」「そうなんだ、交通を妨げるものが何もないんだ」

頭が空っぽだから脳という障害物なしに伝わる、ということです。この女性はブロンドのはずです。

●**lend an ear to ...** ... (人の言葉など) に耳を貸す[傾ける]

Why did the other vegetables like the corn?

He was always willing to lend an ear.

cf. ear: ((主に米)) トウモロコシ (corn) の実 1本

「他の野菜はなぜトウモロコシが好きだったか」

「いつも喜んで耳を貸してくれるから」

喜んでトウモロコシを(貸して)くれる、のです。

●**play ... by ear** ... (曲・楽器) を暗譜で演奏する

(1) He tied his hands so he could play the piano by ear.

彼は耳でピアノを弾くために両手を縛った。耳では弾けません。

(2) "I play by ear."

"I listen the same way."

「暗譜でピアノを弾くよ」「僕は同じやり方で(暗譜で)聴くよ」

●**wet behind the ears** 未熟な、世間知らずの

Young animal doctors are wet behind the ears.

vet: 獣医 ((米)veterinarian)

若い獣医は耳の後ろも獣医だ。vet ⇔ wet のシャレです。

●**eye for an eye, an** 目には目を

An eye for an eye and the world would be blind. (Mahatma Gandhi)

目には目をでは世の中の人々が盲目になります。

"An eye for an eye, a tooth for a tooth" は旧約聖書にある表現です。

●**eye strain** 眼の疲れ

An egotist is one who suffers from 'I' strain.

egotist: (I, my, me を使い過ぎる) 自己中心癖の人 strain: 緊張; ストレス

egotist は egoist (利己的な人) とは違います。

●**have an eye for...** ...を見る目がある

Oculist: A man with an eye for business.

oculist: ((古風)) 眼科医 現代では optician または optometrist です。

「眼科医は商売がうまい人」なのです。

●**seeing eye dog, a** 盲導犬

My pet is very agreeable. He's a seeing-eye-to-eye dog.

cf. see eye to eye: 目と目が合う→意見が完全に一致する

わたしのペットはとても愛想がいい。いつも私

と意見が一致する。

● **make [pull] faces [a face]** (人に向かって)

しかめっ面をする

“I work in a clock factory.”

“Oh, what do you do?”

“Just stand around all day and make faces.”

「時計工場で働いているんだ」「仕事は何だい」

「一日中突っ立って文字盤を作ってるんだ」

しかめ面で仕事をしているのです。

● **cold feet** 弱腰、弱気

A girl with cold feet does a lot of walking.

足の冷たい女性はひたすら歩いている。

気が弱くてゆっくり歩いていられないのでしょうか。

● **stand on one's own (two) feet** (人に頼らず)

自立する

The funniest thing about going to a psychiatrist is that you have to lie down to learn how to stand on your own two feet.

精神科医へ行くことについて最もおかしいことは、自分の2本の足で立つことを学ぶために横にならなければならないことだ。



● **keep one's fingers crossed**

幸運を祈る((人差し指に中指を重ねることは災難よけになるという迷信から))



I'm seriously worried about the pound these days. I looked at one this morning and the Queen had her fingers crossed.

真面目な話、最近ポンドが心配だ。今朝ポンド札を見ると女王様が幸運を祈っていた。

● **slip through one's fingers** (好機などが) 逃げ

る

What happens if you break an hourglass?

Time slips through your fingers.

「(1時間単位の) 砂時計を壊すとどうなる？」

「時間が指の間を滑り落ちるさ」

● **athlete foot, an** 水虫

(1) More often than not, an athlete foot comes from an athlete's feat.

よくあることだが、水虫は選手の妙技から生じる。feat (功績; 妙技) ⇔ feet のシャレになっています。良く出来た作だと思います。

(2) What's worse than an octopus with tennis elbow?

A centipede with an athlete's foot.

tennis elbow: テニス肘

「テニス肘のタコよりひ

どいのは何だ」「水虫持ちの

むか百足」 cent (百) + pede

(足) です。



● **have one foot in the grave** 棺桶に片足を突っ込んでいる、死にかけている

A woman was speaking to her friend, 'My husband has got one foot in the grate.' 'Don't you mean one foot in the "grave?"' says the friend. 'No,' replies the woman. 'He wants to be cremated'

grate: (暖炉の) ひごうし火格子 cremate: 火葬にする  
女性が女友達に話していました。「夫は片足を火格子に入れているのよ」「片足をお墓にじゃないの?」「違うのよ。火葬を望んでいるの」

日本語では突っ込むのは「棺桶」ですが、英語では「墓」です。

● **put one's foot in it [in one's mouth]** へまな事をする[言う]

Afterthought: that mad desire to shut your

mouth after you've put your foot in it.

辞書的には Afterthought は「後からの思いつき、後知恵」ですが「口の中に足を入れてしまった後で口をとじること」と文字通りに解釈しています。

●hair spray ヘアスプレー

What do you get when a rabbit sneezes?

Hare spray.

「ウサギがくしゃみをすると何が手に入るか」  
「ヘアスプレー」

hair ⇔ hare のダジャレです。

●get in ...'s hair (うるさく付きまったりして) …を怒らせる((←シラミなどが髪に入る))

I call her “Tonic” because she always get into my hair.

彼女を「ヘアートニック」と呼ぶのは髪の毛の中に入ってくるからだ。

●ask for ...'s hand …に結婚を申し込む

Five years ago I asked for her hand—and it's been in my pocket ever since.

5年前彼女の手を求めたら、それ以来私のポケットの中にある。

“be in ...'s pocket”は「…(人)の言いなりになっている」という意味ですが、奥方が「私の言いなりになっている」はずはありません。

●eat out of ...'s hand …の言いなりになる

“I've got my husband to the point where he eats out of my hand.”

“Saves a lot of dish washing, doesn't it?”

「夫を私の手から食べる段階まで来させたわ」「皿洗いの手間が省けるわね」

手で食べてくれるので、皿を洗う必要がないのです。

●get out of hand 手に負えなくなる

You should always cut your fingernails before they get out of hand.

いつも指の爪は手から取れてしまわないうちに切るべきです。

最近長い指の爪の女性を見かけます。

●hand over fist どんどん、大量に((←つかもうとする手とつかんだこぶしが重なり合って))

A boxer is a man who makes money hand over fist.

ボクサーとは殴り合って金儲けをする人だ。

●hands-off policy, a 無干渉主義

*The Irish news:* Venus de Milo was the earliest example of a ‘hands-off’ policy.

アイルランドのニュース：ミロのヴィーナスは手無し政策の最も初期の例だ。

手が取れてしまってなくなっているのです。

“Irish bull”は とんちんかんな話で、ジョークの1分野です。

●on every hand 四方八方に

*Teacher (brightly):* As we walk out-of-doors on a cold winter's morning and look about us, what do we see on every hand?

*Class (as a man):* Gloves!

先生(明るくはつきりした声で)「寒い冬の朝、外を歩いて周りを見渡すと



あたり一面に何が見えますか」

生徒たち(一斉に)「手袋で一す」

生徒たちは「すべての手の上に」と解釈したのです。

●on the other hand 他方では、これに反して((on one hand(一方では)に対応する))

(1) I was in search of a one-armed economist so that the guy could never make a statement and then say ‘on the other hand...’ (Harry S. Truman)

私が片腕の経済学者を探していたのはその男が何か主張して、そのあとすぐ「その一方では」と言わせないためだった。片腕ならもう一方はない、はっきり物を言ってくれ、と言っています。

Harry S. Truman (1884-1972)  
はアメリカ第 33 代大統領。80 代以上の人には忘れがたい人物です。



(2) On the other hand, you have different fingers.

もう一方の手には別の指がある。あまりにも当たり前のことを言うおかしさがあります。

●**show one's hands** 本心を打ち明ける((← (トランプで) 自分の持ち札を見せる))

Every time a boy shows his hands, someone suggests that he wash them.

男の子が手を見せるたびに、誰かが手を洗ってはどうか言う。

男の子の手はいつも汚れているのです。

●**over ...'s head** ... に理解できない

Two ladies were discussing the planetarium show they had just seen. One said the show was fantastic. The other agreed but added, "Most of it was over my head."

二人の婦人が見たばかりのプラネタリウムのことを話し合っていた。一人がショーは素晴らしかったと言うと、相手も同意したがこう付け加えた「ほとんど私の頭の上だったわ」

確かにプラネタリウムは見上げて観ます。

●**eat one's head off** 食べるばかりで能がない

Every time I take my wife to a restaurant, she eats her head off. And she looks better that way.

妻をレストランへ連れて行くたびに、彼女は食べまくりまします。そしてその方がずっと良く見えます。彼女は頭がない方が良く見えるのです。

●**keep one's head above water** 借金をしない  
でいる ((←首を水から上に出している))

Here are two types of people: those who own swimming pools and those who can't keep their heads above water.

人には 2 つのタイプがある：プールを持っている人と水の上に首を出してられない人だ。

●**lose one's head** 自制心を失う、取り乱す

Never lose your head in a battle. You won't have a place to put your helmet.

戦いでは頭をなくしてはいけない。ヘルメットを置く場所がなくなるからだ。

●**at heart** 腹の底では、実際は

He says he's young at heart—but slightly older in other places.

自分は気が若いと彼は言う、しかし他の場所はいささか年取っている。若いのは心臓だけなのです。

●**pull ...'s leg** 冗談を言ってからかう

Why can you never play jokes on snakes?

Because you can't pull their legs.

「なぜヘビの冗談は言えないのか」「足を引っ張れないから」

日本語の「足を引っ張る」とは意味が違います。

●**not have a leg to stand on** 主張の裏付けを全然持たない

Eve blamed the snake. The snake didn't have a leg to stand on.

イヴはヘビを責めた。ヘビには頼るべき脚がなかった[立つ瀬がなかった]。

cf. stand on one's own legs には「自分の足で立つ→人に頼らず自立する」の意味があります。

●**down in the mouth** しょげた顔をして

Down: What you might get if you eat a duck.

ダウンとはアヒルを食べると口に入る物。



Downにはdown jacketのように「(名詞) ダウン、羽毛)の意味があります。

●**foam at the mouth** 激怒する

Paul: Mum made a terrible mistake at breakfast time this morning. She gave Dad soap flakes instead of cornflakes.



Saul: Was he angry?

Paul: Just foaming at the mouth.

「ママは朝ご飯のときとんでもないミスをしちゃったんだ。パパにコーンフレークじゃなくてソーブフレークを食べさせたんだ」「お父さん怒らなかったかい?」「口から泡を吹いただけさ」

この少年は、父親が口から泡を吹いてただけで、怒っていたとは思わなかったのです。

●**mouth-to-mouth resuscitation** 口移し式人工呼吸

How did Minnie Mouse save Mickey from drowning?

She gave him mouse-to-mouse resuscitation.

「ミニーマウスはどうやってミッキーマウスがおぼれ死ぬのを助けたか?」「マウスからマウスの口移しの人工呼吸をしたのさ」

mouth ⇔ mouse のダジャレです。

●**take words out of ...'s mouth** (人) の言おうとしていることを先回りして言う

Jack: What would you do if your dog was chewing up your favorite book?

Jill: I'd take the words right out of his mouth.

chew up: かみこなす

「もし犬が君のお気に入りの本を咬んで食べていたらどうする?」「口の中から言葉を引っ張り出すさ」

質問の決まり文句の意味を知らない人の反応です。

●**pain in the neck, a** うんざりさせる人[物、事]; 悩みの種

(1) A man without a woman is like a neck without a pain. (W. C. Fields)

女性のいない男は痛みのない首のようなものだ。女性がいないと悩みの種がないのです。

W. C. Fields (1880-1940) は アメリカのコメディアン・俳優・作家・ジャグラーです。

(2) Women, did you get up this morning with a pain in the neck? Or did your husband get up before you?

女性たちよ、今朝起きるときに首が痛んだか? あるいは旦那が先に起きたか?

既婚女性にとって“a pain in the neck”は夫ということになります。旦那さんは奥方より早起きして朝食の準備でもするのでしょうか?

●**get on ...'s nerves** …の神経にさわる

“Why did you strike the dentist?”

“He got on my nerves.”

「なぜ歯医者をなぐったんだ」「歯の神経にさわったからさ」

●**blow one's nose** 鼻をかむ

A wise man never blows his knows.

賢い人は知識を鼻にかけない。

ちなみに、“blow one's horn”は「ほらを吹く; 自画自賛する」です。

●**poke [stick] one's nose into ...** …に干渉する

Censor: A guy who sticks his No's into other people's business.

editor: (映画・出版物などの)検閲官

検閲官とは他人の仕事にいつも「ダメ」と言うやつだ。

●**have a chip on one's shoulder** (コンプレックスやひがみから) けんか腰である。

『アンカーコズミカ英和辞典』(学習研究社)には

「肩に木切れをのせて、落とせるか挑戦を受けた子供の遊びから」とありますが、イメージが湧きません。

(1) Why was the IT support worker bad-tempered?

Because he had a chip on his shoulder.

「なぜその IT 援助の仕事をしている人は機嫌が悪かったのか?」「肩に IC チップを載せていたから」

(2) My mother-in-law is banned internationally from playing poker, as she keeps all the chips on her shoulder.

義理の母が国際的にポーカーを禁じられているのは点棒を全部肩に載せたままプレーするからだ。

●**cold shoulder, the** 冷淡な態度、冷遇、軽視 ((「冷えた羊の肩肉」の意から))

(1) What did the cannibal get when he was late for dinner?

The cold shoulder.

「夕食に遅れたときその人食い人は何を食べさせられたか」「冷たい肩肉」

(3) How did the Eskimo boy know his engagement was off?

The Eskimo girl gave him the cold shoulder.

「そのエスキモーの若者はどうやって婚約解消を悟ったか」「恋人が冷めた肩肉を食べさせたから」

●**skeleton in the closet [cupboard], a** クローゼット[戸棚]の中の骸骨((他人に知られたくない家庭内の秘密))

(1) The cat which isn't let out of the bag often becomes a skeleton in the cupboard. (Falconer Madan)

袋の中から出してもらえないネコは戸棚の中の

骸骨になることがよくある。

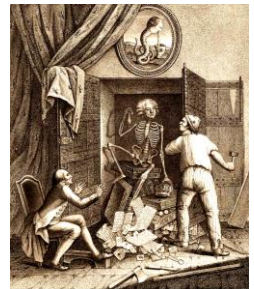
“let the cat out of the bag” は「袋に入れたネコを出してしまう」→「うっかり秘密を漏らす」で、余計な秘密を漏らしたために、袋に入ったまま死んでしまうのです。

Falconer Madan (1851-1935) は Oxford 大学の中の1つの図書館の司書だった人。

(2) What do you call a blonde skeleton in the closet? Last year's hide and seek champ.

「戸棚の中のブロンドの骸骨を何と呼ぶか?」「去年のかくれんぼチャンピオン」

かくれんぼをして戸棚に隠れたまま骸骨になってしまうのです。いわゆる「ブロンド・ジョーク」です。



●**get under ...' skin** …を怒らせる、イライラさせる

Why do dermatologists make bad flat mates?

They really get under your skin.

dermatologist: 皮膚科専門医

「なぜ皮膚科の専門医はアパートの同居人として嫌な奴か?」「人の皮膚の下に入り込むから」

●**save one's (own) skin** 肌[=わが身]を守る→自分だけ死[損失・罰・負傷]を免れる

David's wife is mad at him because he forgot her birthday. David saves his skin. 'Sweetheart,' he says. 'How do you expect me to remember your birthday when you never look any older?'

デイヴィドの妻は自分の誕生日を忘れたことに腹を立てた。彼が難を逃れたのは次のように言ったからだ。「お前、ちっとも年取って見えないのに、どうして私がおまえの誕生日を思い出さず思うんだい?」

これは使用可能な表現かもしれません。

● **on an empty stomach** 空腹で

I never eat breakfast. I don't like to eat on an empty stomach.

私は決して朝食を食べない。空腹の時食べるのを好まないのだ。

Breakfast=break(破る)+fast(断食)で朝食は空腹の時食べるはずです。

なお「空きっ腹でワインを飲む」は“drink some wine on an empty stomach”です。

● **green thumb** 園芸の才能

A physical condition which is usually accompanied by black and blue knees.

緑色の親指とはふつう青黒いあざになった膝の身体状態のこと。這いつくばって庭いじりをする姿が浮かびます。



● **under ...'s thumb** …の言いなりになって

Thumb: The thick finger on the hand of a woman that usually has a man under it.

親指とは「通常男を従えている女性の手の分厚い指」をいう。

● **fight tooth and nails** 必死に戦う

A dentist married a manicurist and they've been fighting tooth and nails ever since.

歯科医がマニキュア美容師と結婚し、それ以来彼らは喧嘩が絶えない。

Toot((歯を削る)ピーピー鳴る音) ⇔ tooth のダジャレです。

例会での発表の時より少しは分かりやすくなったでしょうか？

\*\*参考文献：ベティー・カーパトリック著 柴田元幸 監訳『英語クリーシェ辞典』(研究社)



どうぞよろしく

大野和子さん

“Laugh and good life!” — 『楽しい英語が身につくジョーク集』のあとがきで、安藤雅彦様が締め括られたフレーズです。昨年3月に仕事を退職しました私にとりまして、このフレーズは、まさに私が望んでいたものでした。もう力んで生活しなくてもよい、おもしろがって生きていこうと心から思いました。

以来私は、出かける時は必ず、この本をバッグに入れるのが習慣となりました。電車の中でもパッと開いて、にんまりできるのが楽しみです。まちがいなく変なおばさんに見えるでしょうが。

7月20日には、長谷川先生のお誘いで、思い切って会合に参加させていただきました。日本近代文学館の一室に知的で自由な空間が広がり、少しずつ緊張がほどけていきました。メンバーの一員になれたことは、ありがたかったです。が少し、自分自身に不安があります。

私は世の中の動向に疎いところがあり、方向音痴で、そそっかしい人間です。空想好きなこともあり、ケアレスミスもよくします。先日も次のようなことがおこり、自分に呆れました。拙いですが書いてみます。

K: I'm afraid my memory is dropping out of my brain and I'm so absent-minded.

S: Kazuko, you have a drop on each of your eyeglasses.

K: Oh, I must have put eye medicine without taking off my eyeglasses!

S: Incredible!

この会をご紹介くださった長谷川先生、ありがとうございます。

そしてこんな私ですが、皆さま、どうぞよろしくお願いたします。